

# 景観づくり活動部門 受賞

名 称	洗足池及び周辺地区における環境保護・育成活動
活 動 場 所	洗足池とその周辺地域
写 真	
活 動 概 要	<p>1933年（昭和8年）設立以来、当時の組織の継承としては唯一の風致協会である公益社団法人洗足風致協会が中心となって、大田区とも協働しながら洗足池及びその周辺地区における環境保護・育成活動を行ってきた。近年は地元中学生と連携した取組として、昭和初期に生息していたホタルを復活させる「ホタル復活プロジェクト」に取り組み、環境指標生物であるホタルを通して、水質改善を行うとともに、景観をより良くしていく活動などを行っている。</p>
表 彰 理 由	<p>洗足池及びその周辺は大田区の景観の基礎となる地形と土地利用による景観形成の経緯を知るに恰好の場所である。そこに東京都で唯一の「風致協会」が残されていることは大田区の誇りであるといえる。</p> <p>洗足風致協会は、単に古いものを大切にするという考え方だけではなく、小学校・中学校などと共同で、毎年テーマを検討し、次世代の「風致」「景観の価値」を大切にする気持ちや行動力を醸成するという長期的な構想を持つ一方で、季節に合わせた毎日の植栽の維持管理にも取り組み、今なお生き生きと活動している、見事な景観まちづくり団体である。また、補助金を使うことなく、周辺の様々な問題にアプローチしながら、風致の維持に取り組んできており、風致協会制度が目指した「保存」と「利用」の両立を果たしてきた経営手腕にも感服する。地元中学生を巻き込んだ「ホタル復活プロジェクト」についても、ボランティアの協力も得ながら継続的に取り組むなど、地域力の向上に寄与する活動も行っており、将来への期待が膨らむ。</p> <p>大田区景観まちづくり賞のお手本として広く区民に周知するとともに、このような取組が大田区のみならず、東京、ひいては日本全国で展開されることを願うものである。</p> <p style="text-align: right;">（委員：杉山 朗子）</p>
受賞者 (活動団体)	公益社団法人洗足風致協会

# 景観づくり活動部門 受賞

名称	池上6・7丁目、東矢口周辺の花とみどりのコミュニティ活動
活動場所	池上6・7丁目、東矢口1・2丁目の一部
写真	
活動概要	<p>地元住民から構成されるなでしこの会が池上6・7丁目間から東矢口に至る歩道の植栽帯の手入れを行うとともに、その活動報告をお便りで毎週近隣（180部）に配布し、地域との交流を図っている。</p>
表彰理由	<p>なでしこの会が生み出しているのは、花とみどり豊かな生活景である。そこには、特別な歴史や自然地形はないが、地域の人々を繋げる素晴らしい活動が展開されていることを高く評価した。</p> <p>同会では自然体で無理をしないという明確なスタンスのもと、会員の意思を尊重しながらフレキシブルに行動する緩やかさがあり、月8回程の精力的な活動を継続していることから、会員が無理なく活動を楽しんでいる状況が伺える。活動資金の確保においても、会の趣旨に賛同した会員約70名からの会費と様々な公募助成の獲得により、自立した運営を行っている。また、地域の人々の繋がりをつくるという明確な目標を持っており、活動報告のお便りを毎週という高い頻度で近隣に配布し活動を周知するとともに、育てた植物を使った子ども向けのイベントの開催や地元障害者施設との交流など、地域の様々な主体を繋げる活動を積極的に行っている。</p> <p>今後に向けては、植物の手入れ作業への参加が難しい高齢者のために居場所づくりを検討するなど、活動の広がりも期待される。</p> <p style="text-align: right;">（委員：杉田 早苗）</p>
受賞者(活動団体)	なでしこの会